

アピール：核兵器のない世界を

2010年核不拡散条約（NPT）再検討会議にむけて

21世紀のいまも、2万6千発の核兵器が世界の平和と安全を脅かしています。

ヒロシマ・ナガサキの悲劇が示すように、核兵器の使用は一瞬にして無数の命を奪い、世代を超えて人びとを苦しめ、文明を破壊します。

被爆者は「人類と核兵器は共存できない」と警告し続けています。核兵器による新たな犠牲をつくりだしてはなりません。

人類の生存と子どもたちの未来のために、人々の連帯した行動によって、核兵器のない世界を実現しましょう。

2010年の核不拡散条約（NPT）再検討会議にむけて、核保有国には2000年5月の核兵器廃絶の「明確な約束」を実行することが求められています。

私たちは、核保有国をはじめすべての国の政府がすみやかに核兵器禁止・廃絶条約の交渉を開始し、締結することに合意するようよびかけます。

名 前	住 所

このアピールは、2008年8月、広島に集まった世界の平和運動の代表が連名で呼びかけました。この署名は世界の国々で進められ、2010年春、ニューヨークで開かれる核不拡散条約（NPT）再検討会議に提出されます。